

平成25年度 第1回沼田市子ども子育て会議 会議録（概要）

会議の概要

開催日時	平成25年11月18日（月） 午後1時30分から3時30分
開催場所	沼田市保健福祉センター 研修室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p>【委員】 小野塚委員、片野委員、北原委員、○櫛渕委員、後藤委員、◎小林委員、武井委員、田代委員、千明委員、勅使河原委員、中澤委員、庭野委員、樋口委員、藤岡委員、宮田委員、村松委員</p> <p>【市関係者】 星野市長、林副市長（健康福祉部長事務取扱）</p> <p>【事務局】 栞原子ども課長、小池子育て支援係長、小川主査</p> <p>【その他】 業務委託者（地域計画株式会社 研究員1名）</p>
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長及び副会長の選出について (2) 会議の公開等について (3) 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の実施について 6 その他 7 閉 会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沼田市子ども・子育て会議委員名簿 ・ 沼田市子ども・子育て会議条例 ・ 子ども・子育て関連3法について ・ 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について ・ 調査票（案） ・ 今後の審議事項とスケジュールについて（予定）

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
事務局	<p>1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 自己紹介 5 議 事 (1)会長及び副会長の選出について 資料「沼田市子ども・子育て会議条例」により説明。</p>
<p>会 長 副会長</p>	<p>沼田市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規定により、会長及び副会長の互選を行う。(小林会長、楢渕副会長を選出)</p> <p>(あいさつ) (あいさつ)</p>
会 長	<p>(2)会議の公開等について 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>会議の公開については沼田市子ども・子育て会議条例に定めがないため、条例第7条の規定によりご審議をお願いするものである。内容は、会議の公開、市ホームページにおける会議概要の公開及び委員名簿を公開することについてである。本市行政については可能な範囲で公開・公表の方針であることから、公開とすることについてご審議いただきたい。</p>
委 員	<p>名簿の公開は氏名のみとするのか。住所等については公開されないことを確認したい。</p>
事務局	<p>氏名、推薦団体等を公開としたい。</p>
会 長	<p>ご異議ないので、公開について事務局の説明のとおり決定する。</p>
事務局	<p>次回会議から、事前に市ホームページに会議日程掲載によりお知らせし、会議を傍聴される方には、受付簿に住所・氏名・年齢を記入していただく。また、会議概要については委員各位に内容確認をいただいてから、市ホームページに掲載することとする。</p>
会 長	<p>ご異議がないので、事務局の説明による取扱いとする。</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
会 長	<p>(3)子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査の実施について 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料「子ども・子育て関連3法について」、「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について」及び「調査票(案)」により説明。</p>
会 長	<p>調査票は質問事項が多いので、回答する方はたいへんだと感じる。回収率を上げるために子どもの健診の際に声をかけることや、広報、回覧等の工夫が必要かと思う。小学生の場合は、学校のご協力をいただくことで回収率は上がると思われる。</p>
委 員	<p>小学生の調査票を試しに回答してみたが、問18-2「学童クラブを利用していない」理由についての設問は、該当する選択肢がなかった。選択肢として「子どもの面倒をみる人がいるから」の追加が必要ではないか。</p>
委 員	<p>厚生労働省の調査で、非常に量の多いアンケート調査に答えているが、回答者には記念品が贈られる。そのような検討はできないか。</p>
会 長	<p>ご意見のあった設問の選択肢については調整を加えることとし、記念品の件については予算の問題もあるかと思うが。</p>
委 員	<p>郵送ではなく、幼稚園、保育園等経由にすれば経費がかからないのではないか。</p>
委 員	<p>幼稚園等に調査票配布をお願いすれば、回収率も上がると思う。</p>
事務局	<p>記念品については予定をしていないので、ご理解をいただきたい。また、調査票の配布・回収について幼稚園や保育園等に依頼することも検討したが、幼稚園等に入園している家庭の回収率が上がると、入園していない家庭の回収率との差が出るのではないかとの考えから、同じ条件で郵送とする選択をした。こちらもご理解いただきたい。</p>
会 長	<p>かたよった配布・回収方法ではなく、という事務局の説明であるので、今回はこのまま郵送というやり方でよろしいか。記念品等の件も含めて、また次の調査の際には検討するというこでいかがか。</p>
委 員	<p>未提出の方に提出を促すということとはできないか。</p>

発言者	議事の経過及び発言の要旨
事務局	次世代育成支援行動計画策定におけるニーズ調査の際には、今回と同じく未就学児には郵送で依頼し72%、小学生は学校経由で96%の回収率であった。調査票の回答については、あくまでもご協力をいただくという方針である。
会長	調査は無記名なので、催促の通知を出すとすれば対象者全員に出すことになり、やはり経費がかかる。
業務委託 研究員	先行して実施している他市の例では、次世代のニーズ調査と比較すると回収率は悪いようである。5割くらいと予測している。沼田市の調査票案を作成するうえでは、市独自の設問で市に対する要望等を記載できるようにし、回収率を上げる工夫をしている。
委員	事務局で、提出を促すチラシ等を作っただけであれば、学童クラブ等で周知の協力はできると思う。
会長	調査票を郵送後、提出を促すチラシを事務局が作成し、各施設の協力によりチラシを配布し、回収率を上げる努力をするということとする。
委員	小学校の回収率がよいということには、各学校の教員の負担があることをご理解いただき、回収期間を長くする等の配慮をお願いしたい。なお、2学期は12月24日までであることを考慮し、回収期限を決めてほしい。
委員	「量の見込み」「区域設定」について説明願いたい。
事務局	「量の見込み」の「量」はニーズ量のことで、どんな制度がどのくらい必要なかは、ニーズ調査の結果により取りまとめができると考えている。調査票では、まず、現住地について沼田地区、利南地区等の地区を回答していただき、それぞれの地区で取りまとめたニーズを、どの範囲の区域で供給量を確保するかをご審議いただき、提供する区域を決定したいと考えている。
委員	「沼田地区」等の地区の範囲のとらえ方については、若い世代は地区と町名が一致しないので、わかりづらいのではないかと。
事務局	ニーズ調査票に各地区に含まれる町名を記載した注釈を添付し対応したい。

発言者	議事の経過及び発言の要旨
会 長	ニーズ調査の実施については、ただ今のご審議のとおり決定させていただく。
会 長	<p>6 その他</p> <p>その他の事項について、ご意見等があるか。</p>
委 員	市で幼稚園の新設計画があるように聞いているが、子ども・子育て会議で検討すべき事項ではないか。
事務局	まだ、未定の状況であると認識しているが、ご意見があったことを教育委員会部局に伝える。
会 長	<p>次回の会議には担当の教育委員会部局から、経過等について説明願うこととする。</p> <p>事務局から連絡事項があれば説明をお願いします。</p>
事務局	<p>次回の会議からは関係課からのオブザーバー出席として、健康課、学校教育課の各担当者の出席についてご了承いただきたい。</p> <p>今後の会議スケジュールについては、別紙予定表をご覧ください。次回の会議は、ニーズ調査集計後の来年2月末から3月上旬頃を予定している。なお、その後の日程については今後の国の動向によって変更もあり得るということでご理解いただきたい。</p>
会 長	<p>7 閉 会</p> <p>本日の会議は以上とする。進行のご協力に感謝する。</p>